

西表島の植物誌

(草本類)



林野庁 九州森林管理局
西表森林環境保全ふれあいセンター

はじめに

西表島は日本最大規模のマングローブ林をはじめとする亜熱帯の原生林とわが国最大のサンゴ礁「石西礁瑚」に囲まれ、固有種であるイリオモテヤマネコをはじめとする希少な野生動植物が生息・生育する豊かな自然環境に恵まれています。

この西表島に国有林野を活用し自然再生活動に取り組むNPO団体や環境教育に携わる教育関係者等への支援活動の強化等を図るため、西表森林環境保全ふれあいセンターが平成16年4月に設置されました。

同センターでは、これまで西表島の小・中学校の学校行事である西表島横断、古見岳やテドウ山の登山、登山前の事前学習会等の支援を行ってきました。また、森林環境教育の教材として、「西表島での自然環境教育カリキュラム」、「西表島の名木集」等を作成し、西表島の小・中学校に配布し、活用いただいております。

今回、森林環境教育の教材として「西表島の植物誌」を作成することができました。これは、西表島は固有種が多く、全国的な植物図鑑ではなかなか植物名が特定できないこともあり、西表島での森林環境教育を推進する上において、是非とも必要な教材でした。

本書は、西表島でのフィールドを活用した自然再生活動に取り組む教育関係者、行政機関、各種団体、西表島の自然環境に関心のある方々の一助になれば幸いです。今後ともご意見、情報等を頂きながら、さらに補完・充実させていきたいと考えております。

最後になりますが、本書の発刊までに多くの皆様方にご指導ご協力を戴き、かつ具体的なお意見等を賜りましたことに対しまして、ここに厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

九州森林管理局長 沖 修司

目次

木本類^{もくほんるい}..... P 1 — P 99

草本類^{そうほんるい}..... P 101 — P 122

シダ植物^{しやくぶつ}..... P 123 — P 128

街角の植物^{まちかど しやくぶつ}..... P 129 — P 138

参考資料^{さんこうしりょう}

西表島の概要^{いりおもてしま がいよう}..... 参考資料^{さんこうしりょう} 1 — 参考資料^{さんこうしりょう} 3

この本の使い方^{ほん つかかた}..... 参考資料^{さんこうしりょう} 4

用語の解説^{ようご かいせつ}..... 参考資料^{さんこうしりょう} 5 — 参考資料^{さんこうしりょう} 11

検索^{けんさく}..... 参考資料^{さんこうしりょう} 12 — 参考資料^{さんこうしりょう} 16

そうほんるい
草本類

イリオモテアザミ

科名: キク科

学名: *Cirsium brevicaule var. irumtiense*



●海岸の砂浜や岩場に生え、高さ20-100cmになる多年生の草本です。花は紅紫色です。茎と葉の裏面には毛があります。

ハマオモト

科名: ヒガンバナ科

学名: *Crinum asiaticum var. japonicum*



●海岸の砂地に生え、高さ50-80cmの多年生の草本です。葉は革質で光沢があり、長さ30-70cm、幅4-10cmです。花をつける茎の長さは50-80cm、茎の先には白い花が夜中に咲きます。

ハマウド

科名: セリ科

学名: *Angelica japonica*



●砂浜や海岸近くの草地に生え、高さ1m程度の大形で多年生の草本です。茎は高さ1-1.5m、葉は羽状複葉で、小葉には小さな鋸歯があります。アシタバに似ていますが食べられません。

ボタンボウフウ

科名: セリ科

地方名: 長命草

学名: *Peucedanum japonica*



●砂浜や岩場等に生え、高さ60-100cmの多年生の草本です。小さい葉が3つ集まった3出複葉です。小さく白い花をつけます。葉の形が牡丹に似ているためこの名がついたといわれています。若葉は食べられません。

ゲンバイヒルガオ

科名: ヒルガオ科
学名: *Ipomoea pes-caprae*



撮影日: 2007.07.19

●海岸の砂地に生える多年生の草本です。茎は長く地面を這います。葉は互生し長さ3-8cm、幅4-10cm、左右が二つ折りになります。花は径5-6cmの紅紫色です。葉の形が相撲の行司が使う軍配に似ていることからこの名前がついたといわれています。

ノアサガオ

科名: ヒルガオ科
学名: *Ipomoea indica*



撮影日: 2008.02.14

●海岸の草地や崖に生えるつる性で多年生の草本です。葉の形はハート型で長さ5-10cm、幅4-8cmです。葉にはまばらに毛があり、姿はアサガオに似ています。花は朝に咲き夕方には紅色になってしぼみます。

モミジヒルガオ

科名: ヒルガオ科
学名: *Ipomoea cairica*



撮影日: 2007.05.10

●アメリカ大陸原産、多年生のつる性の草本です。全体に無毛です。葉は5-7つに深裂し、大きさは径6-9cmです。花は紅紫色をしており、中心は紫色をしています。葉の形が紅葉に似ていることからこの名前がついたといわれています。

フサナリツルナスビ

科名: ナス科
学名: *Solanum seaforthianum*



撮影日: 2007.05.10

●南アメリカ原産で、道ばたや山林内に生育する多年生のつる性の草本で全体が無毛です。葉は互生し長さ10-20cm、奇数羽状複葉のように3-9つに深裂します。花は腋生し、房状に垂れ下がり、瑠璃色をしています。

キダチハマグルマ

科名: キク科
学名: *Wedelia biflora*



●海岸の砂場や岩場に生えるつる性の多年生の草本です。葉は対生し卵形で、長さは柄を含め7-14cm、幅3-8cm、縁には鋸歯があり、葉の両面には毛があります。花は腋生し、径3cmぐらいの黄色の花が咲きます。

アメリカハマグルマ

科名: キク科
学名: *Wedelia trilobata*



●熱帯アメリカ原産のつる性の多年生の草本です。茎は地上を這って、4-5mの広い群落をつくるほど繁殖力が強いです。葉は対生し卵形、葉の縁に鋸歯があり、花は1年中開花しています。

ハマササゲ(ハマアズキ)

科名: マメ科
学名: *Vigna marina*



●海岸の砂浜に生育するつる性の多年生の草本です。小葉が3つ集まった3出複葉で、小葉は卵形、長さ3-6cmです。両面無毛で、葉先は鋭形です。花は黄色で長さ15-18mmです。実(豆果)は黒く熟します。

ハマナタメ

科名: マメ科
学名: *Canavalia lineata*



●海岸の砂浜や岩場に生えるつる性の多年生の草本です。葉は3出複葉、小葉は円形で長さは5-12cmです。花は淡い桃色で長さ2.5-3cmです。実(豆果)は長さ5-10cmです。

ハマボッス

科名: サクラソウ科
学名: *Lysimachia mauritiana*



撮影日: 2008.04.08

●海岸の岩場や砂地に生え、高さ10-40cmの多年生の草本で全体が無毛です。葉は互生しやや肉厚、さかさ披針形で長さ2~5cmです。花は白色か淡い紅色で、茎の先に総状花序につきます。花穂を僧が持つ仏子(仏具の一つ)に見たてたといわれています。

ミルスベリヒユ

科名: ハマミズナ科
学名: *Sesuvium portulacastrum*



撮影日: 2009.07.06

●海岸の岩場や河口近くの潮水のかかる場所に群落をつくる多年生の草本です。茎は匍匐して長さ20-50cmに達します。葉は針状で長さ2-4cm、多肉質です。花は茎の先端に淡い紅色をした星形の小さな花を1個つけます。

イソマツ

科名: イソマツ科
学名: *Plumbaginaceae*



はな
花

花撮影日: 2009.04.11

●海岸の岩場に生え、高さ10-30cmの低木状の多年生の草本です。葉は肉質でへら状、葉の先は円形です。葉柄を含む葉の長さは1.5-5cmです。花は紅紫色で穂先に1-2個つけます。

キダチキンバイ

科名: アカバナ科
学名: *Ludwigia octovalvis var. sessiliflora*



撮影日: 2007.10.29

●休耕田などの湿地に生え、高さ40-150cmの低木状の多年生の草本で、全体に毛があります。葉は線形で、両面に多少長い毛があります。花は黄色で1.5cm程度ですがよく目立ちます。

タイワンクズ

科名： マメ科

学名： *Pueraria montana*



撮影日： 2009.10.21

●道路脇や山野に生える大型のつる性の半低木です。葉は3出複葉、小葉は卵形で長さ10-15cmくらいで、両面には毛が生えています。花は葉腋から総状花序につき、紅紫色をしています。根は澱粉を蓄えます。

ルリハコベ

科名： サクラソウ科

学名： *Abelmoschus moschatus*



撮影日： 2008.01.09

●海岸近くの畑のそば等に生え、高さ10-20cmの1年生の草本です。葉は卵形で長さ1-2.5cm、幅0.5-1.5cmで葉先は鋭形です。花は瑠璃色です。ハコベに似ていて、花の色が瑠璃色であることからルリハコベの名前がついたといわれています。

テッポウユリ

科名： ユリ科

学名： *Lilium longiflorum*



撮影日： 2008.04.09

●海岸近くの崖などに生え、茎の高さ50-100cmの多年生の草本です。葉は長さ10~18cmで細長く光沢があります。花は白色で茎の先端に数個を横向きに咲き、甘い香りがします。鱗茎(根)は黄白色で径5-6cm程度で食べると苦みがあります。

ショウキズイセン

科名： ヒガンバナ科

学名： *Lycoris traubii*



撮影日： 2009.10.03

●海岸の岩場や山野に生える多年生の草本です。葉は長さ30-60cm、幅20-25mmと細長く、花の茎は高さ60cm程度です。鱗茎(根)は5-6cm程度です。

タチアワユキセンダングサ

科名: キク科 (オオバナセンダングサ)
学名: *Bidens pilosa* var. *radiata*



撮影日: 2008.08.04

●熱帯のアメリカ原産、空き地などに生え、高さ50-120cm、一年生の草本で茎は直立します。葉は3-5枚の小葉からなる奇数羽状複葉で、下葉の方では5枚の小葉となるのが特徴です。実にはトゲがあり衣類や動物に着いて運ばれます。

ノゲイトウ

科名: ヒユ科
学名: *Celosia argentea*



撮影日: 2008.12.10

●熱帯アメリカ原産で畑地などに見られ、茎は直立し高さ40-80cmになる一年生の草本で、全体に無毛です。花は長い柄があり、白色や淡紅色をしています。名前のノゲイトウは、野生化したケイトウの意味です。

チリメンナガボソウ

科名: クマツヅラ科
学名: *Stachytarpheta dichotoma*



撮影日: 2008.04.09

●南アメリカ原産、空き地等に生え、高さ50-120cmの多年生の草本です。葉は対生し、小葉は卵形です。葉の表面はシワがあり、葉の縁は鋸歯があります。花は穂状花序で紫色をしています。

フトボナガボソウ

科名: クマツヅラ科
学名: *Stachytarpheta jamaicensis*

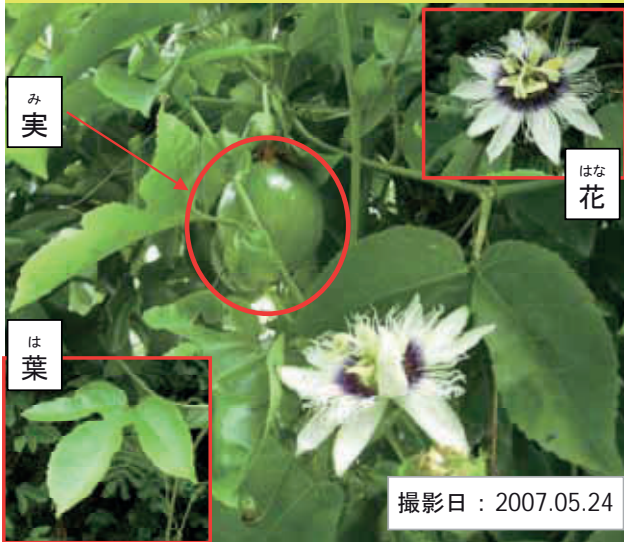


撮影日: 2007.05.24

●南アメリカ原産、道路脇などの空き地などに生え、高さ100cmの草本です。葉は対生ですが互生もあります。葉の縁には鋸歯があり、チリメンナガボソウと違い表面にはシワが少ないことで区別します。花は穂状花序で紫色をしています。

クダモノケイソウ

科名: トケイソウ科
学名: *Passiflora edulis*



●山野に生える大型のつる性の半低木です。葉は3つに深裂します。花は紅紫色です。ブラジル原産で、ジュースの原料として用いられており、挿し木で増やせます。根は澱粉を蓄えます。

ヒメトケイソウ

科名: トケイソウ科
学名: *Passiflora minima*



●民家近くの荒地などに生育し、長さ5m程度にもなるツル性の多年生の草本です。観賞用として栽培されていたものが野生化しています。葉は中裂します。花は黄緑色で3cmほどです。実は大きさ1cmほどの球形で、熟すと黒紫色になります。

カッコウアザミ

科名: キク科
学名: *Ageratum conyzoides*



●メキシコ原産、道ばたや空き地に生え、高さ30-60cmの一年生の草本で、茎は直立します。葉は対生ですが上方では互生しているものがあり、卵形で長さ5-13cm、幅2-4cmです。縁には低い鋸歯があり、両面には毛があります。花は淡紫色または白色で、1年中咲いています。

リュウキュウトロロアオイ

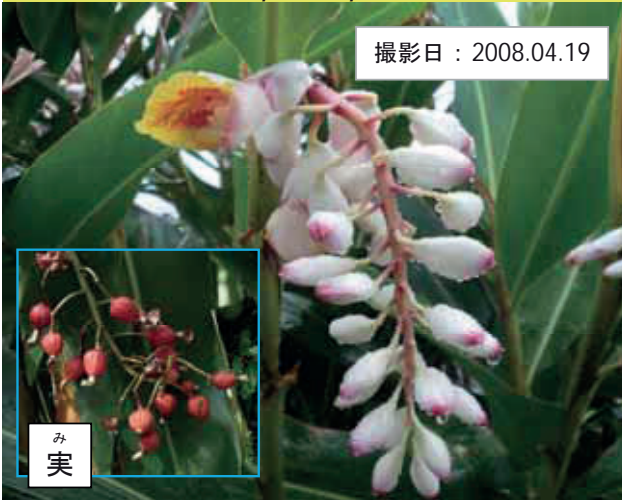
科名: アオイ科
学名: *Abelmoschus moschatus*



●低地から山地の湿気のある荒地に生える一年生の草本で、茎は直立し1mに達します。葉は互生、長さ6-15cmで深裂します。花は鮮やかな黄色で、直径10-15cmぐらいで、葉の内部は暗紫色をしています。

ゲットウ

科名: ショウガ科
学名: *Alpinia speciosa*



撮影日: 2008.04.19

み
実

●民家の側や畑に植えられ、高さ1-3mで常緑の多年生の草本です。葉の長さは50-80cm、葉の縁は毛縁状です。花は総状花序で垂れ下がり、白色から淡紅色、長さ20-30cmです。実は球形で長さ2cm程度です。クマタケランよりも大型で花が垂れ下がることから見分けられます。和名は「月桃」。竹富町の花に指定されています。

クマタケラン

科名: ショウガ科
学名: *Alpinia formosana*



撮影日: 2008.05.07

み
実

●山林内に生育し、高さ1-2mの常緑の多年生の草本です。葉の長さは50-70cmで、葉の縁は毛縁状です。花は総状花序で白色、上に向いています。実は球形で1cm程度、赤く熟します。和名は「熊竹蘭」。

イリオモテクマタケラン

科名: ショウガ科
学名: *Alpinia flabellata*



み
実

は
花

撮影日: 2007.11.26

●山林内に生育し、高さ1-3m、常緑の多年生の草本です。葉の長さは30-40cmです。花は円錐花序の黄色を帯びた白色です。アオノクマタケランと比べ、花のつき方が違います。実は球形で径5-6mm程度、熟すと橙黄色になります。

アオノクマタケラン

科名: ショウガ科
学名: *Alpinia intermedia*



撮影日: 2007.05.10

み
実

●山林内に生育し、高さ1-2mの常緑の多年生の草本です。葉の表面には光沢があり、長さ30-50cmです。花は総状花序で白色、上に向いています。実は球形で径1cm程度です。本種は葉の縁に毛がないこと、花のつき方が違うことから、クマタケランと区別することができます

ツルラン

科名：ラン科

学名： *Calanthe furcata*



撮影日：2007.07.30

●山地の常緑広葉樹林の下に生え、高さ40-80cmの多年生の草本です。葉は1株に3-6枚が束生し、長さ20-50cm、裏面に毛があります。花は白色または帯紫色で、花軸の高さは40-80cmです。

トサカメオトラン

科名：ラン科

学名： *Geodorum densiflorum*



撮影日：2007.09.06

●山地の道沿いや荒れ地に生育し、高さ30-50cmの多年生の草本です。花は総状花序の白色で、花軸は直立しますが、先端で下方に曲がり、下向きに咲きます。花が咲き終わると花軸は直立し実をつけます。

トクサラン

科名：ラン科

学名： *Calanthe gracilis var. venusta*



撮影日：2007.11.25

●山地の常緑広葉樹林の下に生育し、高さ50-100cmの多年生の草本です。葉は長さ20-40cm、毛はありません。花の花軸の高さは40-60cmです。花は、初め白色ですが後で淡黄色になります。

レンギョウエビネ

科名：ラン科

学名： *Calanthe lyroglossa*



撮影日：2009.02.05

●山地の常緑広葉樹林の下に生育し、高さ50-80cmの多年生の草本です。葉は1株から4-5枚、長さ30-45cmです。花の花軸の高さは35-45cmで、黄色の花を25-30個密集してつけます。写真の花はつぼみのため横を向いていますが、これから上を向いてきます。

台湾エビネ

科名: ラン科
学名: *Calanthe forosana*



●山地の常緑広葉樹林の下に生え、高さ40-80cmの多年生の草本です。葉は長さ35-80cmです。花は総状花序で、花軸が葉より高く伸びて黄色の花を多数つけます。

バイケイラン

科名: ラン科
学名: *Corymborkis veratrifolia*



●山地の常緑広葉樹林の下に生え、高さ50-200cmにもなる多年生の草本で茎は高くササのように堅いです。葉は互生し長さ20-35cm、葉脈が多く、脈に沿って縦にヒダがあります。花は腋生し白色です。

ナリヤラン

科名: ラン科
学名: *Arundina graminifolia*



●山地の日当たりの良い草原等に生え、高さ50-120cmの多年生の草本で、茎は堅く枝分かれせず、多数の葉をつけます。葉の長さ10-20cm、で葉脈は葉の両面に突き出ます。花は径約4cm程度で紅色の大きな花をつけます。

コウトウシラン

科名: ラン科
学名: *Spathoglottis plicata*



●山地の林縁や林道沿いに生育し、高さ50-100cmの多年生の草本で、根は堅く、根の茎は地表近くを匍匐しています。葉は4枚前後で長い柄があり、長さは50cm前後で細長く、葉脈が目立ちます。紫紅色の花を多数つけます。

カクチョウラン

科名：ラン科

学名： *Phaius tancarvilleae*



●山地の荒れ地や林道沿いの常緑広葉樹林の下に生え、高さ60-120cmの多年生の草本です。葉は厚く革質、2-3枚で長さ70cm程度です。花は総状花序で、茎の高さは60-70cm、外側が白く、内側は暗紫褐色をしています。

イリオモテラン

科名：ラン科

学名： *Trichoglottis ionosma*



●樹の幹に着生する多年生の草本で、茎は長く伸び、幹をよじ登るか下垂しています。葉は互生し2列つきます。花は葉腋から1-多数つき、帯黄色に赤褐色の斑点があります。

リュウキュウセッコク

科名：ラン科

学名： *Eria ovata*



●常緑広葉樹林内の岩の上または樹上に着生し、茎の長さは10-30cmの多年生の草本、無毛です。葉は茎の先に2枚程度でつき、長さが20-30cmです。花をつける茎は多少わん曲し、長さ約20cmの花軸の先に多数の花をつけます。

チケイラン

科名：ラン科

学名： *Liparis plicata*



●常緑広葉樹林内の岩の上または樹上に着生し無毛です。葉は長さ10-18cmで数枚出します。花は総状花序で淡黄緑色、3-15個の花が一方に偏ってつきます。

イナバラ

科名: ラン科

学名: *Odontochilus inabae*



撮影日: 2007.11.25

●山地の常緑樹林の下に生え、地上の茎の高さは10-20cmの多年生の草本です。葉は互生、卵状の長楕円形で長さ4-5cmです。花は茎の先に穂状につき、帯紅色で2-3個つきます。

カゴメラン

科名: ラン科

学名: *Goodyera hachijoensis* var. *matsumurana*



撮影日: 2009.03.02

●山地の常緑樹林の下に生え、茎の元部は横に長く、上部は直立し高さ10-25cmの多年生の草本です。葉は3-4枚、長さ3-4cm、幅2-2.5cm、葉の表面に白い格子状の網目模様があり、「籠目蘭」の由来と言われています。花は総状花序で汚白色の小さい花を多数つけます。

イリオモテヒメラン

科名: ラン科

学名: *Malaxis bancanoides*



撮影日: 2009.10.14

●山地のやや暗い樹林下で湿気のあるところに生え、高さ20-40cmの多年生の草本です。葉は細長い長楕円形で長さ1-2.5cm、幅4-10mmです。花は淡緑色で多数つけます。西表島、石垣島に自生します。

キンギンソウ

科名: ラン科

学名: *Goodyera procera*



撮影日: 2008.03.27

●山地の沢などの水のあるところに生え、高さ40-80cm、茎は太く肉質の多年生の草本です。葉は柔らかく、多少肉厚で長さ8-15cm、幅2-6cm、多数の葉をつけます。白く小さい花を多数つけます。

リュウキュウサギソウ

科名: ラン科

学名: *Habenaria longitentaculata*



撮影日: 2009.11.08

●山地の湿ったところや樹林下に生え、高さ40-60cmの多年生の草本です。葉は束生し、長さ10-17cm、幅3-4.5cmです。花は穂状花序で緑白色、クモが足を伸ばしたように見えます。

ヤンバルミヨウガ

科名: ツクサ科

学名: *Amischotolype chinensis*



●山地の樹林下に生え、高さ50-60cmの多年生の草本です。葉は披針形で長さ15-20cm、幅4-6cmです。花は白色や淡黄緑色で葉腋につきます。ヤブミヨウガの花は茎の先につくので見分けられます。

オキナワテイショウソウ(オキナワハグマ)

科名: キク科

学名: *Ainsliaea macroclinidioides* var. *okinawensis*



●山地の樹林下に生え、高さ35-75cmの多年生の草本です。葉は茎の中央部に集まり、卵形で長さ6-13cm、表面は緑色で光沢があり、裏面は淡緑色で毛があります。花は総状花序で小さな白い花をつけます。

リュウキュウツワブキ

科名: キク科

学名: *Farfugium japonicum* var. *luchuense*



撮影日: 2009.02.06

●山地の溪流沿いに生え、高さ30-80cmの多年生の草本です。葉は光沢があり、葉の縁は鋸歯が鋭く尖り、溪流に生える種の基部はくさび形で狭く、溪流以外では基部が切形で広がっています。花は黄色で林内ではよく自立します。

アリモリソウ

科名: キツネノマゴ科

学名: *Codonacanthus pauciflorus*



撮影日: 2008.12.01

●山地の樹林下や登山道沿いに生え、高さ30-50cmの多年生の草本で、茎には短い毛が生えています。葉は長楕円形で長さ3-10cm、幅1.5-3cm、葉先は鋭形、葉は無毛です。花は総状花序、長さ、径とも8-10mmで白色をしています。

イリオモテソウ

科名: アカネ科

学名: *Arogostemma solaniflorum*



撮影日: 2009.11.08

●山地のやや湿った岩場などに生え、高さ3-5cmの1年生の草本で、茎には淡褐色の縮れた毛があります。葉は対生し、長楕円形で大小の葉があり、大きい葉の長さは2-10mmで葉柄があり、小さい葉は5-7mmでほとんど葉柄がありません。花は白色で、花びらは5つに深く裂けて咲きます。

ナガバイナモリ

科名: アカネ科

学名: *Ophiorrhiza japonica* var. *tashiroi*



撮影日: 2008.01.21

●山地の清流沿いなどの湿気の多い場所に生え、高さ15-50cmの多年生の草本です。葉は披針形で長さ8-15cm、幅1-3cmで両面とも無毛です。花は白色です。本種は、サツマイナモリの変種で、葉は長く、茎は木質化しています。西表島、石垣島に生育します。

リュウキュウイナモリ

科名: アカネ科

学名: *Ophiorrhiza kuroiwai*



撮影日: 2009.06.10

●山地の湿った樹林下に生え、高さ30-100cmの多年生の草本です。葉は対生し披針形、長さ6-13cm、幅2-6cm、葉先は鋭形です。側脈と側脈の間は隆起しています。花は茎の先に多数に分かれ、長さ3-5mm程度の白色の花が咲きます。

オオシラタマホシクサ

科名: ホシクサ科
学名: *Eriocaulon sexangulare*



撮影日: 2008.11.13

●山地の溪流沿いの岩場などに生え、高さ20-50cmの一年生の草本です。葉は線形で東生し、長さ7-30cm、幅3-12mmです。花は白色で丸く卵状をしており、花の茎は長さ10-40cmあり、葉よりも長くなります。沖縄本島より以南の琉球に生育します。

マツムラソウ

科名: イワタバコ科
学名: *Titanotrichum oldhamii*



撮影日: 2009.02.06

●林の中の湿った岩場などに生え、高さ15-70cmの多年生の草本です。葉は対生し、ゆがんだ長楕円形で長さ5-20cm、幅2-8cmで鋸歯があります。花は総状花序で黄色の小さな花が咲きます。本種は西表島、石垣島に生育しています。

コウトウシュウカイドウ

科名: シュウカイドウ科
学名: *Begonia fenicis*



撮影日: 2007.05.15

●山地の樹林下に生え、高さ40-80cmの多年生の草本で、根茎を這わせて葉と根を出します。葉は円形で径8-14cm、葉の縁は鋸歯があります。花は白色でまとまって咲き、変わった形をしているので目立ちます。

マルヤマシュウカイドウ

科名: シュウカイドウ科
学名: *Begonia laciniata* var. *formosana*



撮影日: 2008.05.07

●山地の樹林下に生え、高さ30-40cmの多年生の草本で、根茎を這わせて葉と根を出します。葉は円形で長さ10-15cm、葉の縁は浅裂し、鋸歯があります。コウトウシュウカイドウとそっくりですが、葉の切れ込みなどで見分けることができます。

ナンバンギセル

科名: ハマウツボ科
学名: *Aeginetia indica*



撮影日: 2008.06.06

●山野に生え、高さ15-30cmの1年生の草本で、スキヤサトウキビなどの根に寄生します。全体に毛はありません。花をつける茎は長さ15-30cm、その先に横を向いた長さ3-5cmの淡紅紫色の大きな花をつけます。

リュウキュウツチトリモチ

科名: ツチトリモチ科
学名: *Balanophora kuroiwae*



撮影日: 2009.02.06

●海岸近くの林の下に生え、高さ8-14cmの多年生の草本で、クロヨナ、オオバギなどの根茎に寄生します。花穂は球形で赤みがかったピンク色をしています。花穂は受粉後は茶褐色や黒色に変わっていきます。花穂の下の方には周囲につぶつぶのような雄花があります。

ヤマビワソウ

科名: イワタバコ科
学名: *Rhynchosyche discolor*



撮影日: 2009.03.02

●山地の樹林下などに生え、高さ30-50cmの小低木で、茎は直立します。葉は対生または互生し、さかさ卵形で長さ10-20cm、幅2.5-6cm、葉の先は鋭形です。葉の縁は鋸歯があります。花は白く、実は球形で径6-7mm、熟すと白くなります。

ヌマダイコン

科名: キク科
学名: *Adenostemma lavenia*



撮影日: 2008.11.13

●山地の沢沿いなどの湿ったところに生え、高さ30-100cmの多年生の草本です。葉は互生し披針形、長さ4-20cm、縁に鋸歯があり、両面にはまばらに毛があります。花の大きさは径5-8mmです。

キキョウラン

科名：ユリ科
学名： *Dianella ensifolia*

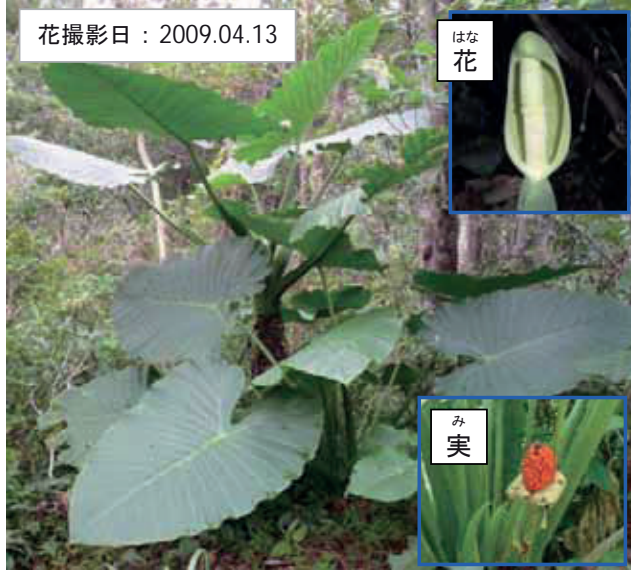


●海岸近くに生え、高さ50-100cmの常緑の多年生の草本です。葉は線形で長さ40-60cm、花は青紫色で大きく反り返るのが特徴です。実は球形で径8-10mm、青紫色に熟します。和名は、花の色がキキョウの花に似ていることによります。

クワズイモ

科名：サトイモ科
学名： *Alocasia odora*

花撮影日：2009.04.13



●低地の常緑樹林の下に生え、高さ1-2mの多年生の草本です。葉の柄は太く、長さ60-120cmです。葉はハート型で長さ幅とも60cm程度です。花は緑色でやや白身を帯びています。実は液果で熟すと赤くなります。天然記念物のリュウキュウキンバトの餌となります。

オキナワズズメウリ

科名：ウリ科
学名： *Bryonopsis laciniosa*



●林縁に生えるつる性の一年生の草本です。葉は互生し5-7つに深裂、長さ幅とも10cm程度です。縁には細かい鋸歯があります。花は約1cmの淡黄色の花がつけます。実は液果で球形、径約2cmです。赤や緑に白の縦縞模様があります。雌雄同株。

クロミノオキナワズズメウリ

科名：ウリ科
学名： *Melothria liukuensis*



●林縁に生えるつる性の一年草です。葉は対生し長さ幅とも5-10cm程度です。表面はざらつき、縁は荒い鋸歯があります。実は楕円形で長さ1.5-2cm、暗緑色をしています。雌雄異株。

リュウキュウカラスウリ

科名: ウリ科
学名: *Trichosanthes miyagii*



撮影日: 2008.02.18

●低地から山地の林縁に生えるつる性の多年生の草本です。葉は互生で丸いハート形、長さ幅とも9-13cmです。両面とも毛はありません。花は白色です。実は液果で球形、長さ4-5.5cmです。花は夜咲いて昼には萎みます。

ケカラスウリ

科名: ウリ科
学名: *Trichosanthes rostrata*



撮影日: 2009.03.27

●山地の林縁に生えるつる性の多年生の草本です。葉は厚く、3-5つの浅い浅裂があり、ハート形、長さ幅とも10-15cmです。表面に毛があります。花は白色です。実は液果、楕円形で長さ4.5-7cm、幅2.5-3cmで熟すと赤くなります。

ヤエヤマセンニンソウ

科名: キンポウゲ科
学名: *Clematis tashiroi*



撮影日: 2008.10.30

●低地から山地の林縁の木に絡まり、常緑でつる性の多年生の草本です。葉は対生し全縁、3出複葉で小葉の長さは5-10cm、托葉があります。花は円錐花序で腋生し、濃い紫色と白い花柱が綺麗です。奄美大島以南から琉球にかけて生育します。

ヤンバルセンニンソウ

科名: キンポウゲ科
学名: *Clematis meyeniana*



撮影日: 2008.04.15

●常緑樹林の林縁の木に絡まるつる性の多年生の草本です。葉は薄い革質で3出複葉、小葉の長さ5-12cmで托葉はありません。葉の先は鋭形で表面は光沢があります。花は腋生し白色です。

ソメノイモ

科名: ヤマノイモ科
学名: *Dioscorea cirrhosa*



撮影日: 2007.05.10

●山地の林内に生え、つる性の常緑の草本です。葉は互生し長楕円形、長さ8-17cm、幅4-7cm、葉は堅く、3つの葉脈が目立ちます。根からは赤褐色の染料をつくることができ、八重山上布などに使われます。地方名をクール(紅露)といいます。

フウトウカズラ

科名: コショウ科
学名: *Piper kadzura*



撮影日: 2009.09.03

●海岸近くの林内に生えるつる性の木本で、節から根をおろします。葉は互生、卵形で長さ5-8cmです。葉の先は鋭尖形で5つの葉脈が目立ち、裏面に毛があります。実は液果で熟すと赤くなります。雌雄異株。

サクララン

科名: ガガイモ科
学名: *Hoya carnosa*



撮影日: 2007.05.10

●山地の常緑樹の林内に生えるつる性の草本または半低木です。葉は多肉質で光沢があり、楕円形で長さ5-10cm、幅3-5cmです。花は葉腋から散形花序の帯紅白色、直径1-1.5cmです。花の中央部は赤く、甘い香りがします。

ホウライカガミ

科名: キョウチクトウ科
学名: *Parsonsia laevigata*



はな
花

は
葉

●海岸近くの林縁に生えるつる性の低木または半低木です。葉は厚く革質で楕円形、長さ6-8.5cm、幅3-6.5cmです。葉の裏の側脈が隆起して目立ちます。日本最大の蝶、オオゴマダラの幼虫の食草です。本種から毒を得ると言われています。

サツマサンキライ

科名: ユリ科
学名: *Smilax bracteata*



●山地に生えるつる性の半低木で、茎にはまばらにトゲがあります。葉は卵形で5-10cm、厚くてやや光沢があります。実は液果で楕円形、5-7cm、熟すと黒くなります。雌雄異株。

オキナワサルトリイバラ

科名: ユリ科
学名: *Smilax china var. kuru*



●山地等に生え落葉するつる性の半低木です。葉は卵形で長さ4-10cm、幅2-8cmで、薄い革質です。サルトリイバラの変種とされています。花は淡黄色、実は液果で熟すと赤くなります。葉はサルトリイバラに似ていますが大型でトゲのないものがあります。雌雄異株。

カラスキバサンキライ

科名: ユリ科
学名: *Heterosmilax japonica*



●林縁に生えるつる性の半低木で、茎にトゲはありません。葉は互生しハート型、長さ5-10cmです。実は液果で球形、径8-10mm、黒く熟します。葉が中国の唐の鋤刃に似ていることから名がついたといわれています。

ササバサンキライ

科名: ユリ科
学名: *Smilax nervo-marginata*



●山地に生える常緑のつる性の低木で、茎にはトゲがありません。葉はサルトリイバラに比較し極端に細長い卵形をしており、堅い革質です。実は液果でツヤのある黒い実をしており、黒緑色に熟します。

ハブカズラ

科名: サトイモ科
学名: *Epipremnum pinnatum*



●低地の樹林内の木に絡みつき、つる性で常緑の多年生の草本です。茎は木質化し径2cm程度になります。葉は光沢があり、大型で長さ30-50cm、幅10-35cmです。葉の縁は深裂します。花は円柱形で長さ10-15cm、径約1.5cmになります。

キンチョウ

科名: ベンケイソウ科
学名: *Bryophyllum tubiflorum*



●マダガスカル原産、人家や石垣等に見える多肉植物です。茎は直立し高さ20cm程度ですが、1mに達するものもあります。葉は円柱形で灰緑色に紫黒色の斑紋があり、長さ7-8cm、幅約5mmです。

アオイボクロ

科名: ラン科
学名: *Nervilia aragoana*



●海岸近くの常緑広葉樹林の下などに生える多年生の草本です。葉は丸いハート型で長さ10-15cmです。花は淡緑色です。花と葉の発生する時期が違い、葉は花が終わった後に出てきます。別名、ヤエヤマクマガイソウ、ヤエヤマヒツボクロといひます。

ムラサキヒゲシバ (シマヒゲシバ)

科名: イネ科
学名: *Enteropogon dolichostachyus*



●中央アメリカ原産、やや乾いた草地や道ばたに生え、高さ30-80cmの一年生の草本です。葉は長さ10-20cm、幅2-6mmです。花は長い茎の先につき、長さ2-6cm、幅3-5mm、紫色を帯びています。世界の熱帯から温帯地域に生育しています。

ウミショウブ

科名：トチカガミ科

属名：ウミショウブ属

学名： *Enhalus acoroides*



撮影日：2009.07.22

はまべ う おばな
浜辺に打ち上げられた雄花



は かいめん ただよ おばな
葉と海面を漂う雄花



おばな
雄花

めばな
雌花

●入江の浅い海底の砂の上に生える多年性の草本です。葉はリボン状で長さ50-150cm、幅1-2cm、両方の縁に太くて堅い脈があります。雄花の苞鞘は葉腋から出る長さ5-10cmの柄の上につきませんが海面には出ません。苞鞘の中には白色の雄花が数十個入っており、開花時には海面に浮き上がります。雌花の苞鞘の柄は水深に応じて海面まで伸びてきます。雌花は苞鞘の中に1個だけあり、萼片3個で帯赤色で反りかえっており、花弁は3個でリボン状、長さ4-5cm、幅3-4mm、白色でやわらかく、波形のしわがあります。雄花は海面を漂い雌花の花柱に達し受粉します。雌雄異株で、夏の大潮の日を中心に開花します。琉球、太平洋・インド洋沿岸の熱帯～亜熱帯に分布します。株の形がショウブに似ており、海に生えていることからこの名がついたといわれています。